



ポニーリーグ

★★

2022年度事業計画を作成

日本ポニーベースボール協会は22日の理事会で2022年度の事業計画を作成した。「POO」

選手たちが硬式野球に夢中になれる環境作りに取り組んできた。22年も大きな1歩を踏み出す。

ロングパンツ着用、スパイク色混在認める

ユニホーム自由化

る。

ポニーは、自我を最大限尊重し、自己表現する意識を寛容な精神で受け入れるという考え方、他リーグでは認められないロングパンツの着用を認め

個人の嗜好（しこう）により自由にし、チーム内でロングとショートの混在も可とする。熱中症予防のため白スパイクを使用するチームが増えているが、黒スパイクに統一していたチ

ムが全員白に切り替えるとなると保護者の金銭的負担が増えてしまう。

力ねのかからない硬式野球の実現を目指すポニーは、チーム内でもスパイクの色が混在することも認めたこととした。

5月1日に開催、選手たちの肩・肘を検診

ポニーフェスタ



選手のケガ防止対策もさらに進められる

コロナ禍のため20、21年と中止になつたポニーフェスタを22年5月1日に開催する。関東連盟所属チームの選手たちを集め、肩・肘に障害の所見がないかどうかを検診する。検診にあたるのは、国内におけるトミー・ジョン手術の第一人者であり、同協会常務理事の古島弘三医師。

古島医師は館林慶友ポニーの代表も務めている。「障害は予防できるものである」という考え方のもと、ポニーは他団体に先駆け投球数制限のルールを設け中1には変化球も禁止し、同日の連投、投手と捕手との兼務を禁止するなど、野球障害の予防に積極的に取り組んでいる。

ポニーフェスタでは肩・肘検診のほか、4月に入部した選手の保護者を対象とした審判講習会も行う。さらには同様の栄養に関する講座、監督を対象とした指導者講習会も開かれる。

7月23～27日、春季大会勝ち抜いた64チーム

21年まで7月下旬に全日本選手権ポニー大会と全日本選手権理事長杯大会という2つの全国大会が首都圏で並行して開催されてきた。22年からはこの2大会を一本化し、7月23～27日の5日間で全日本選手権として開催する。



春から全国各地においてリーグ戦形式で行われる春季大会を勝ち抜いた64チームが集まり、トーナメント方式で争われる。1年生チームが出場するポニーブロンコ大会は引き続き全日本選手権と並行して開催される。開会式と決勝、閉会式は例年通り東京・江戸川区球場を予定している。

目標せ世界一！5月4、5日に日本代表選出

広澤克実杯兼ね宮城県で開催予定

全世界に組織を持ち、国際大会親善試合による国際交流を積極的に行ってきたが、コロナ禍により20、21年は国際試合を新設することが決まった。各地に団体が増えてきたことから、東日本大会、西日本大会を新設することが決まった。

開催日程は8月11～14日の4日間。東日本大会は東北地区、西日本大会は九州地区で開催する。新規加盟のチームは、ポニーの伝統あるチームと対戦することに、ようて、ポニー独自のルールや

8月11～14日、東北地区、九州地区で開催へ

東日本、西日本、北海道・北東北大会新設

21年は16団体が新規加盟した。各地に団体が増えてきたことから、東日本大会、西日本大会を新設することが決まった。

開催日程は8月11～14日の4日間。東日本大会は東北地区、西日本大会は九州地区で開催する。新規加盟のチームは、ポニーの伝

統あるチームと対戦することに、ようて、ポニー独自のルールや

開催することができなかった。アジア大会開催の可否は依然として先行きが見えないが、それでも日本代表に選ばれることは目標だ。その夢を実現させたため、22年は広澤克実杯を5月4、

5月5日間で全日本選手権として開催する。